



第4回定例会において総務産業常任委員会に付託を受けた次の案件について主な内容を報告します。

◆平成29年度一般会計補正予算(第7号)

○市街地地域熱供給システム可能性調査事業

下川町のこれまでの発展経緯と、森林・林業、そして森林バイオマスの取組みを顧みると、様々な可能性を追求するため、合意形成のもとで、地域独自の先駆的、先進的な取り組みに果敢にチャレンジしながら、多様な課題を乗り越え、確実な成

果を生み出してきた。そのことが今日、内外に高い評価を得て、将来への希望と期待へとつながり、活力となって好循環が図られてきた。

こうした状況下で、今後に向けた様々な問題、課題が内在するが、このままでは負のスパイラルに入る。

よって、賢明な判断のもとでビジョンを明確に示し、多様化する住民ニーズのもとで、説明責任と合意形成を果たしながら、新たな可能性を追求し、確実に実行していかなければならない。

そこで、当委員会として次の意見を付します。

①これまでの森林バイオマス熱供給事業をしっかりと検証し、さらに積極的に発展させるため、町民意見、議会審議と現状、そして地域の諸

課題、ひっ迫する財政等を鑑み、総合計画(SDGs 未来都市の取組含む)、都市マスタープラン等、環境未来都市への総合的な取組みが進められている中、将来の情勢を見通し、確たる施策を展開すること。

②本調査の実施にあたっては、地方自治の本旨と自治基本条例の主旨を踏まえ遺憾なく取り進めること。

③本調査にあたり、新規設備導入を含め様々な可能性と最適化を追求すること。

④本調査は、あくまで可能性を調査するものであると解する。



行政報告

森林バイオマス熱電併給事業、(株)三井物産との事業計画は白紙に

関係団体等から意見聴取、町民説明会や意見交換などを重ね(株)三井物産とともに事業実施に向けて協議・検討してきたが、これまでの経過を踏まえ事業計画を白紙に戻す。本町にとって重要な取り組みであることから、これまでの議論を踏まえ、関係団体、企業、町民など関係する方々から意見を頂き改めて事業計画を策定し、低炭素社会の構築と地域の活性化を目指す。

補正予算

◆平成29年度一般会計補正予算(第6号)

補正額653万円を追加し、歳入歳出それぞれ55億9,774万円となった。

主な内容は、2月に韓国で開催される平昌(ピョンチャン)冬季オリンピックのスキージャンプ競技に出場が見込まれる本町出身選手の応援に係る経費。



議会を傍聴してみませんか 次の定例会は3月です
近くなりましたら、行政告知端末、町のホームページ、ポスター等で日程等お知らせします。署名をすることができます。署名をすることができます。署名をすることができます。